

ノア Smile

〒344-0001
埼玉県春日部市不動院野1112-1
TEL048-760-1200
FAX048-760-1201
https://www.saintnoah-kasukabe.jp

1月



キャンドルサービス Candlelight service

12月25日、厳かにキャンドルサービスが開催されました。



ナイチンゲールにならい、手にはキャンドル、看護の初心を胸に、職員が各病棟を訪問、デイルームでは患者さんとのクリスマスソングが高らかに響き渡っていました。



プレゼントも
頂きましたヨ!



「おじいちゃん、おばあちゃん
いつまでもお元気で！」



～目次～

- 病院短信 田巻 國義
- 日常の一コマ 大谷内 文江
- いきいき看護・介護 栗原 美子
- 栄養科だより 穴久保 沙耶香
- キャンドルサービス 病棟デイルーム
- スタッフ紹介 加藤 千亜希

1月の予定

◇ 誕生日会	各病棟デイルーム	14:00～
1病棟	1月15日(月)	
2病棟	1月16日(火)	
3病棟	1月12日(金)	
◇ 初詣&獅子舞	各病棟デイルーム	14:00～
1病棟	1月9日(火)	
2病棟	1月4日(木)	
3病棟	1月10日(水)	



スタッフ紹介

3病棟 介護福祉士
かとう ちあき
加藤 千亜希

趣味：旅行・御朱印集め
好きな食べ物：唐揚げ・ハイボール
特技：何に対しても一途



私はコロナが流行るちょっと前から筋トレを始めています。いまだに全然好きにはなれませんが、もうすっかり日課になってしまいました。心を無にしてトレーニングをすることで、少しはストレス発散になっているのかなと思います。まだまだ引き締める所があるので、今年も頑張っって体作りを続けていこうと思います。



『年頭の挨拶』

理事長 田巻 國義

新年おめでとうございます。令和6年がスタートしました。皆様お正月はいかがお過ごしでしょうか。年頭にあたり、改めて当院の紹介をしたいと思います。忠洋会セントノア病院は、川越と春日部にあり、両院ともに168床の同じ規模の病院で、川越が開院22年目、その3年後に開院した春日部が19年目になります。「認知症」という名称の表現が2004年から一般化されたとの事ですから、それ以前に高齢者の認知症専門病院としてのスタートも、当時は画期的な試みだったとも思います。病院の紹介についてはホームページも参考にしていただければと思います。

さて、当院は「医療と福祉の両立を目指す病院」として発足し、

「一切拘束はしない」

「入院期間に制限を設けない」

この二つの原則を守り、実践して今日に至ります。地域の特性としては東京や埼玉が多く、入院患者の平均年齢は80歳を越え、平均在院年数は3年余り、入院10年の患者もおります。年間70〜80人の入院患者です。から、両院で延べ3000人の患者さんを受け入れてきました。

治療は原則院内で行います。入院患者は皆さん相当な基礎疾患を持って入院されますが、多くの患者は入院後元気になる、表情も穏やかで、家族の方に喜んでもらえます。病気の治療より、日常のケアが大きなウェイトを占めます。すなわち、一日3回の食事とおやつの介助・オムツ交換・入浴・リハビリ体操・音楽療法など、スタッフは大忙しの毎日ですが、プランニングされた日常の規則正しい生活が患者の元気を向上させます。こういう様子はこれまで家族の方に自由に見



日常の一コマ

今月は当院の最年長、102歳のときさんをご紹介します。大正10年、深谷市に7人兄妹の5番目として生まれ、中学卒業後は上野のデパートでエレベーターガールとして勤務されていました。昭和19年に結婚して満州へと渡りましたが、終戦直後にご主人を病気で亡くされたそうです。お一人で日本へ帰国したときさんは、再婚して3人のお子さんをもうけ、60歳まで市役所でパートとして働いていました。退職後は、孫の世話や複数のサークルに参加して、活動的に過ごしていたそうです。

89歳頃、自転車に乗るのを辞めてしまったことがきっかけとなり、徐々に家で過ごすことが多くなりました。その頃から物忘れや妄想などの症状が出始め、「財布がない、なんで盗んだ!」と急に怒り始めたり、昼夜関係なく娘さんに電話したりすることが増えて、困ったご家族が受診を勧めたところ、アルツハイマー型認知症と診断されたそうです。

その後、通院しながら様子を見ていましたが、症状は強くなる一方だったため、精神科病院に入院することとなりました。それでも大声や徘徊はおさまらず、薬物調整と体幹抑制を余儀なくされていたそうです。そして、施設や病院を転々としていた頃、徘徊中に転倒して右足を骨折してしまいました。保存的治療で歩けるようになるまでは回復したものの、大声や介護抵抗は依然として強いまだだったため、令和3年4月、当院入院となりました。

入院当初のときさんは、配膳したばかりの食事のお膳を払いのけたり、介護をしようとするスタッフに「バカヤロー!」と怒鳴ったりしていました。それでも、信頼してもらえるまで辛抱強く対応しているうちに、日に日に穏やかになっていったときさん。いつの間にか、排泄介助後に「ありがとうね」という言葉も頂けるようになりました。

ときさんは102歳にして歯が28本全部そろっています。歯科検診表には「たいへん立派です」と、歯科医師のコメントが書いてあるほど素晴らしい歯の持ち主です。そんなときさんは、介助せずとも自分で食事を食べることができます。いつも「おいしいねえ、おいしいねえ。」と言いながら食べているので、周りの患者さんたちも自然と食欲が湧いてくるようです。まさに「おまじないの言葉」ですね!



これからも、丈夫な歯でいつまでも「おいしいねえ」と言ってもらえるよう、スタッフみんなで、ときさんを見守っていききたいと思います。
2病棟 看護師 大谷内 文江

栄養科 だより

管理栄養士 穴久保 沙耶香

新年おめでとうございます。

患者さん全員に目で見て楽しんでもらいたいという思いから、月に1度【おやつの日】を昨年の夏から始めました。常食だけでなく介護食の方、特にミキサー食の方にも同じように楽しんでもらえるように見ために拘っています。2か月前からアイディアを出し合い、もちろん味にもこだわり試作日をもうけ担当調理員と共に試行錯誤をして本番に臨んでいます。8月の青空ゼリーはご紹介しましたので、その後のおやつについてもご紹介いたします。



9月 お月見パバロア



10月 ハロウィンプレート



11月 秋を感じ羊羹



12月 ツリーケーキとサンタムース

どうでしょうか? 私たちのかける想いが伝わりますでしょうか? 皆さんにここに笑顔で召し上がってくださいました。これからも沢山の笑顔を引き出せるように、取り組んでまいります。普段のお食事も安全安心をモットーに! 本年もよろしく願いいたします。



て頂いていたのですが、数年前からの新型コロナウイルスのため、以前のように自由に家族の方が病棟を見学しにくくなって、私も家族の方との面談が不自由になりました。今後は以前のように家族の方との交流を心掛けたいと思います。

認知症患者は本人に病識がないため、それを全て背負って支えている家族の方との交流はとても大切です。以前は談話室も家族の方でいっぱいでした。それでもようやくこの1〜2年、春のお花見会、秋祭り(昨年からは人数制限もなく、大勢の家族の方が参加されました)など再開しております。

私自身も外科医として30数年、現在の仕事に関わって20年、昨年傘寿を迎えました。自分自身が受診する機会が増えて、医療を受ける側からの期待や思いがどんなものか考えることが多くなりました。治療内容などは、現役の外科医の頃と大きな違いはないのですが、迷うこともあり、その時こそ家族の方との信頼関係の大切さを痛感します。今後も来院される家族の方の率直な意見や希望を聞きたいと思っています。

日本のような高齢化社会では、認知症患者の対応はこれまで以上に社会問題になるでしょう。テレビや新聞などでも以前より大きく取り上げられるようになってきました。当院のような役割についても、もう一度初心に帰って検討して歩んでいく所存です。

皆様にとっても龍の爪が高く上がるような良い一年となりますよう祈願して、年頭の挨拶と致します。

いきいき看護・介護

2病棟 看護主任 栗原 美子

新年明けましておめでとうございます。例年は12月〜3月に流行するインフルエンザですが、今シーズンは早い時期から流行してしまいました。感染症に打ち勝つためにも免疫力を高めていきましょう。そもそも「免疫」とは? 病原体やウイルス・細菌などの異物が身体に入り込んだ時に、それを見つけて身体から取り除く仕組みのことです。私たちの体内では、いろいろな特徴を持った免疫細胞がお互いに協力し合い、チームプレイで身体を守っています。大きくは以下の2つに分かれます。

「自然免疫」⇒生まれつき備わっている機能のことで病原体をいち早く認識し、攻撃することで病原菌の排除を行う
「獲得免疫」⇒一度かかってしまった感染症の病原体情報を記憶して抗体を作る。再び同じ病原体に出会った時に攻撃する。

自然免疫は第一の壁、獲得免疫は第二の壁となり、免疫力を高めることで風邪やインフルエンザにかかりにくくなります。また万が一かかっても、重症化を防ぎ、早期回復が見込めます。そこで免疫力を高める生活習慣をご紹介します。

- ① 笑い: 明るく前向きに! 唾液中のIgA(免疫抗体)がアップする
- ② 運動: 中等度(気持ち良いウォーキング程度)の運動を継続すると、免疫分泌量がアップする
- ③ 身体を温める: リンパ球の数が増加する
- ④ 睡眠: ストレス軽減の効果がある、7時間くらいがベスト
- ⑤ 緑茶: カテキン・チアミンという成分に感染症の予防効果がある
- ⑥ 茶色い穀物: 全粒穀物を1日90g以上摂取すると、様々な疾患リスクが低下する

以上のことを意識し、免疫力を高めて今年一年、感染症に打ち勝って健康に過ごしていきましょう。